



さいたま市



もっと身近に、
もっとしあわせに

たていわ通信

【基本理念】 自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <http://www.saitama-city.ed.jp/05gakko/sizennoie/tateiwa/index.htm>

平成29年 7・8月号

さいたま市立

館岩少年自然の家

TEL 0241-78-2311

FAX 0241-78-2313

いよいよ館岩も、夏本番です。7月は館岩・たかつえ合わせて15校の来所がありました。児童・生徒の元気いっばいの声が山々に響き渡りました。体全体で自然を感じ、充実した表情で自然の教室での生活を過ごす様子がたくさん見られました。

その他にも7月は、館岩・たかつえ夏季後期プログラム相談や、『会津高原の夏・家族の集い』、『自然に学ぶ夏の学校 むし・ほし・いしの3日間』も行われました。7・8月号では、情報コーナーにて、大宮小が訪れた尾瀬の魅力について掲載しております。今月もどうぞよろしくお願いたします。

活動コーナー

自然の教室（館岩・夏季）

自然の教室（たかつえ）



〔6/10（土）大宮西小〕
源流探検
小白沢の景観に心を奪われた様子でした。清流を足元に浴び涼しげに上流へ向かっていきました。



〔6/20（火）大宮小〕尾瀬ハイク
館岩からおよそ40km離れた尾瀬。片道約90分の散策を行いました。湿原に立ったとき、児童たちの表情は感動と達成感にあふれていました。

〔6/22（木）中島小〕
入所式
さいたま市との気温の差に「たかつえ涼しい〜！」という声が聞こえました。到着後、最初に自然を感じた瞬間でした。



〔6/26（月）大久保小〕
ネイチャークラフト
たかつえの必修プログラム。児童たちがグレンデで集めた木の葉や実を使って、オンリーワンの作品が出来上がりました。

館岩少年自然の家 主催事業

東京大学 加藤泰浩研究室主催・さいたま市教育委員会共催

会津高原の夏・家族の集い

自然に学ぶ夏の学校 むし・ほし・いしの3日間



〔7/15（土）～7/17（月）〕
さいたま市在住の14家族42名の親子が参加しました。多くの自然体験活動を通し、充実した時間を過ごしました。



〔7/23（日）～7/25（火）〕
東京大学の加藤教授ご指導のもと、むし、ほし、いしについて楽しく学ぶことができました。

（裏面に続きます。）

プログラム紹介「そばうち」



*町民講師による体験プログラムです。

地元の方々と交流が深まる活動の1つです。館岩の伝統的な食事である「裁ちそば」を自分たちで作って、手作りの喜びを味わうことができます。打ち方や切り方を講師の方々に教えてもらい、少しずつ上手にできるようになります。苦労して打ったお手製のそばを、すぐに食べることが最大の魅力かもしれません。自分たちで作ったそばは味もまた格別で、大きな達成感を感じることができるプログラムです。

自然探訪コーナー ～ 7・8月編～



タマゴタケ

- ・タマゴタケは傘の色が赤～橙赤色で山中でもとても目立つキノコです。汁物や鍋物等の材料になる食用のキノコです。
- ・自然の家では、ネッシー山や前山で見られます。



ミヤマカワトンボ

- ・カワトンボ科 アオハダトンボ属
- ・日本のカワトンボの中では最大の大きさ。翅が褐色で、腹部が青味がかかった金属光沢色をしており、丘陵地や山地の溪流に生息しています。
- ・自然の家では、炊飯広場付近で見られます。

他にもたくさんの自然があります。ぜひ探してみてください。



情報コーナー



尾瀬は、福島県・新潟県・群馬県の3県にまたがる高地にある盆地状の高原で、阿賀野川水系最大の支流只見川の源流域となっています。中心となる尾瀬ヶ原は約1万年前に活火山である燧ヶ岳の噴火活動によって形成されたと考えられる湿原です。尾瀬国立公園に指定され、日本百景に選定されています。

尾瀬では、ミスバショウやミスゴケなどの貴重な植物群落が見られます。

6月20日『尾瀬ハイク』

ショウジョウバカマ、コバイケイソウ、オオカメノキ、モウセンゴケ、ワタスゲ、ハクサンチドリ、タテヤマリンドウなど様々な植物が見られました。

